

氏名	兪 東寿
学位の種類	博士（体育学）
学位記番号	第26号
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当
学位授与年月日	平成24年3月23日
学位論文題目	中国サッカー選手育成に関する研究
論文審査委員	主査 志村 正子 副査 川西 正志 副査 西蘭 秀嗣

論文概要

本研究は社会主義型の体育学校による選手育成から資本主義型のプロクラブによる育成へとサッカー選手の育成システムが変化しつつある中国において、世界的に人気のある競技であるにも拘わらず、実践・観戦人口が低迷する背景とサッカー人口増加の糸口を探るために行われたものである。

こういった研究背景の中、本研究は研究1（中国サッカー選手育成の現状と中国プロサッカーリーグの社会的・経済的側面に関する文献的およびインタビュー調査）と研究2（中国プロクラブの下部組織に所属する選手と保護者の種々満足度の比較を手掛かりにして育成環境の問題の有無と所在を明らかにしようとした研究）から構成した。

「研究1」：中国サッカー選手育成システムの変化と中国プロサッカーリーグが中国社会に与える影響を明らかにするために、論文、書籍、新聞記事を用いた情報収集とインタビュー調査を行った。詳細な情報やデータを得るため2007年2月と2010年3月に、上海体育大学教授兼上海申花クラブの顧問を対象にインタビュー調査を行った。また、2007年2月と2010年3月にわけ、上海の2つのプロサッカークラブ（上海申花クラブと上海東亜クラブ）の選手97人を対象に出身校などを調査した。

その結果、現在中国サッカー選手育成は体育学校、下部組織、一般学校、民間のサッカースクールなどの機関が関わっているが、近年下部組織の育成から多くの選手を輩出するなど社会的変化がみられることが明らかになった。また、中国サッカーリーグの観客動員数、クラブの年間投入額、選手への年俵などの調査からは中国プロサッカーリーグが中国でソーシャルビジネスとなっており、選手の経済状況も恵まれていることが明らかになった。

「研究2」：中国サッカー選手育成の問題の有無と所在を把握するために、選手と保護者の満足度の調査を行った。

調査は「仮説1：保護者の意識の問題が大きければ、トレーニング環境、総合満足、チーム・クラブロイヤルティに関する選手の満足度が高いであろう。」；「仮説2（対立仮説）：選手が実践しているトレーニング環境の問題点が大きければ、トレーニング環境、総合満足、チーム・クラブロイヤルティに関する保護者の満足度が高いであろう。」などの仮説を基に、2011年3月に上海の2つのプロサッカークラブ（上海申花クラブと上海東亜クラブ）の選手187人と保護者89人を対象として、行った。

その結果、1. 上海地域下部組織に所属する選手のトレーニング環境に関する満足度が保護者より高い；2. 上海地域下部組織の選手の総合満足度、クラブ・チームロイヤルティに関する満足度が保護者より高いということが明らかになった。

研究2において全体的に選手の満足度が保護者よりも高いことから、選手が置かれている育成環境の問題よりも周囲でサポートする側の意識の問題が相対的に大きく、後者の問題を解決することがサ

サッカー人口増加につながる可能性が考えられた。

中国の「サッカー人口の減少問題」について総合的に考察すると、中国Cリーグの場合も日本Jリーグと同じく、サッカースクール会員や会員保護者の総合満足度を向上させることがロイヤルティクラブのトップチームの参加行動、観戦行動に繋がると考えられ、サッカースクール会員や保護者の総合満足度を向上させ、観戦に導くことが重要であり、今後観戦者の増加に向けて、総合満足度向上のためのプログラムの強化改善、観戦阻害要因に配慮した会員や会員保護者・家族らを観戦に導く戦略の策定、保護者のスポーツへの態度に影響を与える子どもへの積極的なアプローチが必要と思われる。「サッカー人口の減少問題」を解決するためには、クラブサッカースクールのハードウェアやソフトウェアの面での改善も必要だが、中国の場合も日本と同様、プロクラブサッカースクールへの入会希望を高めることが最初の課題であり、選手よりも保護者のジュニアユースチーム・クラブへのロイヤルティを高めることに結びつくような取り組みや、サポートする側である保護者のサッカーに対する情熱、満足度などを高める必要があると考えられる。

論文審査の要旨

本研究は社会主義型の体育学校による選手育成から資本主義型のプロクラブによる育成へとサッカー選手の育成システムが変化しつつある中国において、世界的に人気のある競技であるにも拘わらず、実践・観戦人口が低迷する背景とサッカー人口増加の糸口を探るために行われたもので、研究1（中国サッカー選手育成の現状と中国プロサッカーリーグの社会的・経済的側面に関する文献的およびインタビュー調査）と研究2（中国プロクラブの下部組織に所属する選手と保護者の種々満足度の比較を手掛かりにして育成環境の問題の有無と所在を明らかにしようとした研究）から構成された。研究1では選手育成システムの変化と中国プロサッカーリーグが中国社会に与える影響が描かれた。研究2からは全体的に選手の満足度が保護者よりも高いことから、選手が置かれている育成環境の問題よりも周囲でサポートする側の意識の問題を解決することがサッカー人口増加につながる可能性が指摘された。